

2021年2月15日

各位

会社名 株式会社ストリームメディアコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 崔 官鎔
(証券コード 4772 JASDAQ グロース)
問合せ先 取締役経営企画部門長 山田 政彦
(TEL:03-6809-6118)

特別損失の計上及び当期業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年12月期決算において下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、その概要をお知らせいたしますとともに、2020年8月13日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」において2020年12月期の業績予想を未定としておりましたが、本日公表いたしました2020年12月期通期業績と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、これまで開発を進めておりましたエンターテインメント事業に付随したソフトウェア仮勘定をオンライン配信事業に転用予定でありましたが、再検討の結果、転用する部分が少なく、また転用した場合には別途多額の開発費用が発生することから、2020年12月期第4四半期累計期間において39百万円の減損損失を計上いたしました。本件につきましては、本日公表の「2020年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

2. 2020年12月期通期業績の前期実績値との差異

〔個別〕

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2019年12月期)	6,113	71	73	△483	△29.26円
当期実績値(B) (2020年12月期)	4,240	△1,212	△1,227	△1,242	△22.64円
増減額(B)－(A)	△1,872	△1,283	△1,300	△759	—
増減率(%)	△30.6	—	—	—	—

3. 差異の理由

新型コロナウイルスの国内での感染拡大を抑えるため、政府が要請した「不要不急の外出自粛」や「コンサートなどの大規模イベントの開催自粛」、「海外からの入国規制」等の影響により、当初、株式会社 SMEJ との合併により売上高及び営業利益の大幅増を見込んでおりましたが、株式会社 SMEJ の収益の中核を担っていたオフラインコンサートを合併後一度も開催することができず、それに伴いグッズの販売やファンクラブ事業、音楽事業も滞る等、未曾有の事態となったことに加え、合併費用及びCS110度における『KNTV 801』放送開始に伴う初期費用や『Kchan！韓流TV』の閉局費用等、今後の収益改善に向けた大々的な舵切りを行ったことに伴う一時的な費用が発生したこと等により大幅な営業損失を計上することとなりました。

また、前記1. に記載のとおり特別損失を計上したことにより、当期実績が前期実績値を下回る結果となりました。

なお、連結の当期実績につきましては、本日公表の「2020年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載のとおりであります。

以上